

日 経 産 業 新 聞

2011年(平成23年)12月15日(木曜日)

## 商業施設など公衆無線LAN 接続認証時に広告配信 ファイバーゲート

公衆無線LANサービスのファイバーゲート(札幌市、猪又将哲社長)は、接続認証時にパソコンやスマートフォン(高性能携帯端末)の画面に広告やアンケートを配信する事業を始めた。設置場所は商業施設や飲食店などを想定、販促に生かしてもらおう。マーケティング情報として外部への販売も視野に入れる。ファイバー社は施設から料金を受け取り、施設利用者が無料でネットを使えるようにする。初期費用は5040円とし、月額費用は無線LAN接続機器1台の場合312

9円で1台増やすことに840円を追加する。今後3年間で接続機器3万台の設置を目指す。すでに池袋パルコ(東京・豊島)が11月にリニューアルした飲食店街フロアに接続機器を6台設置し、運用を始めた。開始後1カ月足らずで400~500人の利用登録があった。

電子メールアドレスやパスワード、性別、生年月日を入力して初期登録を済ますと、次回から接続機器に近づくだけで自動でネット接続できる。その際に広告やアンケートを表示する仕組みだ。スマートフォンやタブレット端末が普及するなか、利便性を高めて導入施設の集客力を高める。どの接続機器を経由して誰がいつネットに接続したかという情報を、導入施設の販促に生かせる。将来は利用者の移動記録をマーケティングの基礎データとして販売することも想定している。

日経産業新聞 平成23年12月15日付